

顕微鏡下扁桃手術の試み (術後出血での経験をもとに)

上越総合病院耳鼻咽喉科
五十嵐 良和

きっかけ

扁摘をTVで供覧、記録したい、と日頃から考えていた。

ヘッドCCD(新潟大学方式)は、装置が高価な上、画像がぶれて、酔いを誘発する。

内視鏡は、固定が難しく、術野の妨げになる。

たまたま、眼科の手術をみていて、顕微鏡を弱拡大で使えば、いけるのではないか？と思った。

右口蓋扁桃術後出血止血術



顕微鏡を使った印象

利点

当たり前だが、術野がとても明るい。
ヘッドランプの装着が不要(楽ちゃん)。
ビデオでの供覧、記録が可能。

結構いける感触！！

欠点

細かい病変が見え過ぎるため、
手術時間が長くなる？
準備に多少時間がかかる。
被写界深度をあげる工夫が必要か？